

特定非営利活動（NPO）法人

ワークスたんぽぽを支える会 会報

チャレンジャーズ Vol. 16

2010・9・1

「NPO 法人ワークスたんぽぽ」は10年目を
迎えました。第4作業所の計画を進めています。



日頃、皆さまには何かとご配慮をいただき、心から感謝しております。 清宮 侖子
気象観測史上、初めてといわれる不順な天候の日々の中ではありますが、私共
ワークスたんぽぽを支える会も2001年2月1日にNPO法人を設立して以来、10
年目を無事迎えることが出来ました。国の方針が次々と変わり、それに対応していくこ
とに大変苦勞をしたように思いましたが、改めて長いスタンスで考えてみますとノーマ
ライゼーションという言葉に少しは近付けたのかと思わないでもありません。
それは誰の故でもなくチャレンジャーと呼んでいる通所生—利用者の力だと思わされて
います。親から、社会から、世界中からそういう力を引き出してくれるのはご本人さん
たちだと思っております。利用定員に対して98%の出勤率と先日聞き、少し単
純ですが感激—すごいな—しています。

成沢、鹿島、相賀の作業所に続いて、今年度には4番目の作業所を準備しないと来年
度、利用希望者を受け入れることが出来ないのでは、多賀より以南、森山、水木あたりに
良い場所がないかと皆で候補物件を探しておりましたが、6号国道沿いの大沼町に恰
好な所が見つかり、この場所で開設する予定で準備を進めております。相賀同様、お弁
当の製造配達を行いますので配達箇所のご紹介をお願い致します。

21年度には再度中央労働金庫さんの助成金を利用させて頂き、先年度と同じ泉が森の
日立ライフさんの施設を利用、第1グループ、第2グループで各1ヶ月間グループホー
ムの体験学習を行いました。途中、インフルエンザで少し中断のハプニングはありまし
たが、食事その他の協力体制も整い、すぐ近くの企業の寮生の食堂を利用させてもらい
とてもよかったです。

新しい作業所の開設を日立南部地区に進めていますので、グループホーム運営も良い
機会が与えられればと願っております。

特定非営利活動法人 ワークスたんぽぽを支える会 理事長

ワークスたんぽぽは創立 15 周年を迎えています (成沢移設後 10 周年を迎えています)

ワークスたんぽぽは、平成 7 年（1995 年）に池の川幼稚園の近くのイワマ接骨院跡に開設しました。創立以来、今年で 15 周年を迎えています。その発展の歩みを下記に示します。

年・月・日	ワークスたんぽぽの歩み	運営母体の歩み
平成 7 年 9 月創立	池の川幼稚園の近くのイワマ接骨院跡に小規模作業所「ワークスたんぽぽ」がスタート。2 日/週 通所者 4 名	形式は、池の川幼稚園同窓会「たんぽぽの会」が運営。大楽先生の案で設立、池の川幼稚園木村先生兼任で指導
平成 8 年 2 月	池の川幼稚園 2 階、旧職員室に移転 通所者 5～7 名、知的 2 名、肢体不自由 1 名、精神 4 名、共同作業所案も浮上	ボランティアグループがスタートする。(名称 ワークスたんぽぽを支える会)
平成 10 年 4 月	日立養護学校から実習性の受け入れが始まる 3 日/週 運営	「すべての障害者の地域ケアをすすめる会」に運営を移管 会長 清宮侏子氏就任
平成 11 年 6 月	市の障害福祉課の紹介で来る方も加わり、知的障害者が増えてくる。  池の川幼稚園 旧職員室作業所	運営団体名を「ワークスたんぽぽを支える会」に名称変更する。同時にボランティアグループは、「野の花」に名称変更する。
平成 12 年 4 月 1 日	「ワークスたんぽぽ」が茨城県心身障害者ワークス運営事業の適用を受け市の委託作業所となる。初めて県、市から認められる。通所者 12 名、	「ワークスたんぽぽを支える会」が市と委託契約を結ぶ。委託料 187 万円/年 指導員 2 名、ボランティア ≒ 25 名。
平成 12 年 8 月	池の川幼稚園から成沢団地旧日立ライフ売店跡に移転	指導員 3 名
平成 13 年 2 月 1 日	法人の運営する小規模作業所となる。  自動車部品を組み立てる 成沢事業所の通所者たち	平成 13 年 1 月 22 日に県の特定非営利活動法人（NPO 法人）ワークスたんぽぽを支える会の認証を受け、平成 13 年 2 月 1 日登記。理事長 清宮侏子氏就任
平成 13 年 4 月	通所者が 18 名となる。日立養護学校から 6 名が入り、知的障害者が 14 名を超えて委託作業所のランクアップとなる。	委託料が 341 万円/年となり、指導員 4 名に増員する。
平成 14 年 4 月	茨大付属養護、勝田養護、北茨城養護等入所範囲が広がる。通所者 21 名となる。	指導員 4 名 委託料 390 万円/年

年・月・日	ワークスたんぽぽの歩み	運営母体の歩み
平成 15 年 4 月 1 日	<p>「ワークスたんぽぽ鹿島」開設 日立市鹿島町永井ビル 2 階を借用 通所者成沢 15 名 鹿島 9 名</p>  <p>家電製品の 部品を組み 立てる鹿島 事業所の通所 者たち</p>	指導員 成沢 3 名 鹿島 2 名 委託料 873 万円/年
平成 16 年	正規授産施設として小規模通所授産施設 「ワークスたんぽぽ」の計画を進める。	7 月 10 日仮称 社会福祉法人「野 の花」設立資金準備会を立ち上げ、 基本金 1000 万円の寄付集め開始
平成 17 年	国の障害児施策の変更が急速に進み、 小規模通所授産施設制度が急遽廃止となり 障害者自立支援法制度が急速に進む	社会福祉法人設立認可審査調書を 県に提出、審査会は通過するも 障害者自立支援法制度に変更が 進み、小規模授産施設制度が無く なる。同時に特例社会福祉法人 設立制度も無くなり設立不可と なる
平成 18 年 4 月 1 日	通所者の増加に伴い、日立ライフ相賀 売店跡に「ワークスたんぽぽ相賀」開設 弁当作りを行う。通所者 成沢 15 名 鹿島 14 名 相賀 7 名 お弁当を作る 相賀事業所の 通所者たち	指導員 成沢 4 名 鹿島 2 名 相賀 2 名 委託料 789 万円/半年 10 月 1 日以降自立支援法に移行
平成 18 年 10 月 1 日	新制度、障害者自立支援法に基づく就労 移行支援事業所の認可を受け、3 作業所を 一体化運営する。主たる事業所を「ワーク たんぽぽ成沢事業所」とし、鹿島、相賀 を従たる事業所とする。通所者 36 名	管理者兼サービス管理責任者 1 名 生活支援員 3 名 職業指導員 5 名 就労支援員 3 名を配置する 訓練給付金 2,629 万円/半年
平成 20 年 10 月 1 日	就労移行支援事業と就労継続支援事業 B 型の多機能事業化を行い、一体化運営 を続ける。通所者 44 名 2 週間のグルー プホーム体験学習実施 12 名が参加	管理者兼サービス管理責任者 1 名 生活支援員 4 名 職業指導員 7 名 就労支援員 2 名 事務員 1 名 訓練給付金 6,171 万円/年
平成 21 年	多機能事業体制が安定し、通所希望者が 増える。通所者 55 名 1 ヶ月間のグル ープホーム体験学習を実施、9 名が参加	管理者兼サービス管理責任者 1 名 生活支援員 4 名 職業指導員 9 名 就労支援員 2 名 訓練給付金 5,888 万円/年
平成 22 年	来年度の新事業所開設見越して、サービス 管理責任者 1 名の追加準備と職員の増員 を行う。通所者 60 名	管理者兼サービス管理責任者 1 名 生活支援員 4 名 職業指導員 11 名 就労支援員 2 名
平成 23 年 4 月 1 日	「ワークスたんぽぽ大沼事業所」開設予定 ワークスたんぽぽ成沢+大沼と一体運営 ワークスたんぽぽ鹿島+相賀と一体運営 4 ページに詳細を示す。	運営形態としては、 ワークスたんぽぽ成沢とワーク スたんぽぽ鹿島の 2 つの認可番号 となる。

仮称「ワークスたんぽぽ大沼事業所」開設準備中

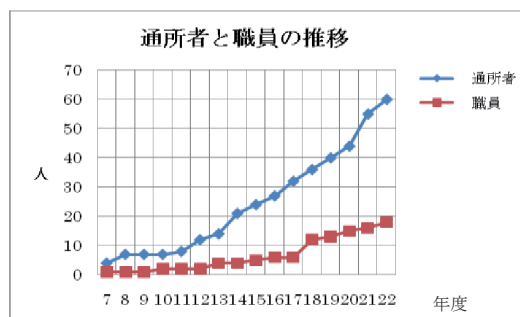
平成7年7月に、障がいの種類を問わずどんな障がいの人でも、自分のやりたいこと、能力を信じて努力すれば、収益を上げることができると同時に、就労や生活自立に近づくことが出来ると考え設立し、この15年間、通所者とスタッフ、そして保護者の皆様が一丸となって頑張ってきました。その結果、現在、3事業所で60名の障がいを持つ方々が通い、その就労支援を16名のスタッフで支えるというところまで成長してまいりました。これもひとえに、池の川幼稚園や成沢地区の皆様、お仕事をいただいている市内の事業所の皆様、そして市役所並びに社会福祉協議会等の行政の方々、さらには、市内各地域の福祉イベントでワークス製品をご購入いただいた皆様のご理解とご協力の賜物と、感謝しております。本当に有難うございます。

さて、ここまで成長した「ワークスたんぽぽ」ですが、このままでは定員いっぱい、来年度の受け入れが出来ないという状況になりましたので、ここ数カ月、金沢から大鵬の間にお弁当の作業をする事業所を作ろうと、空き店舗を探してまいりました。その結果、大沼町の6号国道交差点角にあつくるま買い取りの店「アップル」だったところを、この度貸していただけることになり、10月に契約し改装工事をする事となりました。こちらに、お弁当作業の事業所が出来れば、多賀支所から南部支所までの間の作業所や事業所、行政機関や大学などからお弁当の受注が見込めるようになり、現在若干落ち込んできている通所者の作業工賃も増やすことが出来ると考えております。

また、これを機に、成沢と大沼を「ワークスたんぽぽ成沢事業所」として一体運営の事業登録をし、さらに、鹿島と相賀を「ワークスたんぽぽ鹿島事業所」として一体運営の2つ目の事業登録が出来れば、支援費の単価も上がり安定した運営が見込めるようになると考えております。したがって、スタッフもあと7名くらい増やし、指導体制も充実させる予定でおります。さらにその後は、グループホームも設立しようと考えておりますので、今後とも益々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大沼事業所
建物外観
1階を借用する。2階は住居
になっている。



発行事務局 特定非営利活動法人 ワークスたんぽぽを支える会

〒316-0032

日立市西成沢町 1-6-1

電話/FAX 0294-26-0086